

平成30年度 大館市立長木小学校 学校評価書（前期）

平成30年10月3日

I 学校教育目標

ふるさとに立ち 心豊かで たくましく 生き生きと学び合う 子どもの育成
～樹海の里にキラッと輝き合え 長木っ子！～

II 本年度の経営の基本方針

- (1) チーム長木として、明確なめあてをもち、職員個々の力を生かしながら学校運営に当たる。
- (2) 他のよさを認め、自分のよさを発揮しながら協働できる子どもの育成に努める。
- (3) 児童の実態に合わせた5つの輝き力向上に継続的な取り組む。
- (4) 適切な情報発信を心掛け、保護者・地域に信頼される学校を目指す。



1年生32名を迎えて、今年度も元気にスタート



民生委員とのあいさつ運動 ハチくん、エゾポッコちゃんも！



エゾタンポポの苗を心をこめて笑顔で育てています



地域指導者とふれ合い、本物と出会う正課クラブ活動



学年を超えて仲良く走る 朝のさわやかマラソン



授業の合言葉は「みんなで分かるようになる」 頑張るぞ～！

III 学校評価基準等

自己評価Aと 学校関係者評 価の評価基準	きわめて良好	自己評価 Bの評価基準	5	実現状況はきわめてよく意識も高い／数値目標100%以上
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標81～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標61～80%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／同40～60%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／同39%以下

◆児童・保護者アンケート調査評価基準・集計状況

よくしている・よい	4
まあまあよい	3
あまりよくない・少し不十分	2
まったくよくない・不十分	1
わからない	0

調査対象児童数3～6学年	99名
調査対象保護者世帯数	122世帯
保護者アンケート回収率 前期	77%
年度	

Ⅳ 項目別評価

I 社会性の育成

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
基本的な生活習慣を身に付け、規律ある態度で、協力し合い、充実した学校生活を送ろうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	学校の方向性と地域の理解がよい。見守りたいや地域の人に対する挨拶に積極性が足りないので、学校だけでなく家庭での指導も充実させていきたい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】地域での挨拶に対する子ども達自身の評価数値は高まってきたが、保護者アンケート結果には反映されていない。だれから見ても高まりが感じられるように、どこでも挨拶できるたくましさや地域の一員としての意識を更に向上市させていきたい。職員全体で子どもの悩み等の発見と早期対応に努めており、欠席者が一人もなく、全員が元気に学校で過ごす日も多い。保護者がより安心して子どもを学校に通わせるよう、この体制をしっかりと伝え、相互の協力体制を強化していきたい。			
	【年度→次年度】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(1) 基本的な生活習慣	①正しい言葉遣いとあいさつと返事の習慣化	あいさつ運動 登下校時や校内でのあいさつ・会釈の指導	3.0	
	②生活の約束を守る姿勢・態度の定着	長木っ子の約束の徹底		
(2) 集団生活・集団行動	③よりよい学校づくりに参画する態度と実践力の育成	児童会活動（委員会 グループ活動）クラブ活動	3.4	
	④学級活動における、互いのよさを生かし認め合う態度の育成	係活動 学級会 グループ活動 道徳の時間		
(3) 組織的な生徒指導	⑤校内外の危険箇所の把握と安全環境の確保	交通安全教室 避難訓練 危険箇所点検 連絡・メール配信システムの整備 P T A ・地域子ども見守り隊との連携	4.1	
	⑥問題行動等の早期発見、早期対応、指導体制の確立	長木っ子を語る会		

◆教職員による評価

※（ ）内は前期の評価

自己評価A	評価指標(自己評価B)	実践課題(自己評価B)	
3.5	(1)=3.0	①=3.1	②=3.0
	(2)=3.4	③=3.5	④=3.4
	(3)=4.1	⑤=4.0	⑥=4.1

- ・あいさつが前よりもよくなってきていると感じる。
- ・あいさつは「だれにでも」「自分から」の部分が弱いと思う。

◆児童アンケート（上段が前期、下段が年度） ※単位は%。端数処理等で100%にならない場合がある。

調査項目		4	3	2	1	0
①	あなたは、友だちや先生方に対して「あいさつ」をしていますか。	58	38	2	0	2
	あなたは、地域の方々に対して「あいさつ」をしていますか。	71	20	8	0	1
	あなたは、来客の方々に対して「あいさつ」をしていますか。	63	31	6	0	0
②	あなたは、学校や家庭の約束を守っていますか。	56	36	6	1	1

③	あなたは、児童会活動や学級の係活動、給食・そうじ当番などの仕事をきちんと行っていますか。	75	19	6	0	0
④	先生方は、あなたをほめてくれたり、はげましたりしてくれていますか。	67	25	5	0	3
⑪	あなたは、学校が楽しいですか。	76	16	6	0	2
⑫	先生は、困ったとき、話を聞いたり相談にのったりしてくれますか。	76	17	4	0	3
⑬	あなたは、家で、学校のことをよく話しますか。	60	25	9	3	3

◆保護者アンケート（上段が前期、下段が年度）※単位は%。端数処理等で100にならない場合がある。

調査項目		4	3	2	1	0
①	子供達は、ご家庭や町内で元気なあいさつをしていますか。	26	54	14	5	1
②	子供達は、家庭や学校での約束を守ろうとしていますか。	43	45	9	1	3
③	子供達は、あいさつ運動や学級の係活動、給食や清掃など、自分の役割を果たそうとしていますか。	81	18	0	0	1
④	学校は、校内外における子供の安全確保について、情報収集と十分な安全対策をとっていますか。	52	32	7	2	6
⑤	学校は、いじめ等のない安心できる学校づくりに取り組んでいますか。	43	36	2	0	19

Ⅱ 健康と体力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
食や運動を通じて健康や体力に関心をもち、望ましい生活習慣を身に付けようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	ノーメディアデー、朝のさわやかマラソン、徒歩登校などは高く評価できる。ノーメディアデーの一層の周知をお願いしたい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期→年度】生活の乱れが学校生活に支障を及ぼすほどではないが、ゲームをする時間が多 い等の子どもは複数見られており、適切な時刻での就寝が課題となっている。本校から始ま ったノーメディアデーは今年度、東中・一中学区全体の取り組みにまで広がった。今後、ノー メディアデーの充実と併せ、早寝を中心とした働きかけを進め、健やかな成長を支えていき たい。</p> <p>【年度→次年度】</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(4) 保健体育・食育の指導の状況	⑦基本的な生活習慣	すこやか健康通帳 ライフスタイル調査 保健室廊下掲示 保健・食育指導の充実 ノーメディアデー 保護者への啓発	3.3	
(5) 体力づくり	⑧さわやかマラソン・業間運動への積極的な取組	さわやかマラソン 外遊びの奨励 駅伝大会の実施	3.3	
	⑨新体力テスト結果の向上	結果分析・活用 体育授業での補強・準備運動		

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題
3. 5	(4)=3. 3	⑦=3. 3
	(5)=3. 3	⑧=3. 5 ⑨=3. 2

・さわやかマラソンに前項児童が前向きに取り組んでいた。

◆児童アンケート

	調査項目	4	3	2	1	0
⑥	あなたは、早ね 早起き 朝ごはん、歯みがきをしっかり行っていますか。	58	32	7	1	2
⑦	あなたは、「さわやかマラソン」や「てくてく歩こう運動」を進んで行っていますか。	54	32	11	2	1

◆保護者アンケート

	調査項目	4	3	2	1	0
⑥	子供達は、「はやね はやおき 朝ごはん」の習慣が身に付いていると思いますか。	34	37	21	7	0
⑦	歯みがき指導やノーメディアデー等、子供達の生活習慣を改善するための学校の取り組みは効果があると思いますか。	30	51	7	3	9
⑧	てくてく歩こう運動、さわやかマラソン、駅伝大会等を通し、学校は進んで運動し体を鍛えようとする子どもを育てていますか。	55	34	4	1	5



てくてく歩こう運動で登校



命を見つめるココロの授業



健康な歯は一生の宝 歯磨き教室

Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
意欲的に授業に取り組む、基本的な学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	算数の応用的力など、昨年度の課題への対応を行った成果が出ており、学力が全体にバランスよく伸びてきている。読書の時間を増やす、図書数を増やして親子読書などを行うなどの取組をしてみたらどうか。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】	今年度は、自分が学習したことよさを大切にして、次に生かす活動を重視した授業づくりに取り組んでいる。ここまでの成果として、授業での自分の学習を適切に振り返る力に向上が見られている。この力を生かして、より主体的に学び合う学習へと進めていきたい。ドリル検定、長木検定等の取組は、子供達の目的意識・やる気が更に高まるよう、時期や内容の改善を検討中である。		
	【年度→次年度】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度

(6) 学習への取組	⑩基本的学習習慣の定着	学習の約束(チャイム席/準備) 話す聞く 家庭学習	3.3
	⑪学習内容の基礎・基本の確かな定着	ぐんぐんタイム 週末課題 長木検定ドリル検定	
	⑫読書活動の推進	朝読書 読書運動	
(7) 諸学習調査の状況	⑬学習状況調査等の分析と改善	NRT・学習状況調査・CRTの分析と活用・補充指導	3.1

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題		
3.2	(6)=3.3	⑩=3.3	⑪=3.5	⑫=3.1
	(7)=3.1	⑬=3.1		

- ・週末課題を、全員が忘れずにやってくるようになった。
- ・読書については、「もっと読みたい」という気持ちになる活動を工夫したい。

◆児童アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑧	あなたは、家庭学習を毎日忘れずにやっていますか。	70	21	8	1	0
⑨	先生は、わかりやすく教えてくれますか。	78	18	3	0	1
⑩	あなたは、音読や読書を進んで行っていますか。	65	30	5	0	0

◆保護者アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑨	子供達は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。	45	48	4	2	1
⑩	ぐんぐんタイムや週末課題、長木検定等を通し、学校は子供達の基礎学力の定着に力を入れていると思いますか。	64	32	0	1	3
⑪	学校は、「わかりやすい授業」を提供していますか。	44	36	3	3	14
⑫	子供達に、家庭で読書をする習慣が身に付いていると思いますか。	15	38	22	17	7

IV ふるさとキャリア教育

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
ふるさとへの誇りと愛着心を持ち、ふるさとに生きようとする自立した気概をもとうとしている。	前期	おおむね良好	エゾタンポポプロジェクトの取組が良好である。特に、命の大切さに目を向ける学習がよい。山田町訪問を全員参加とし、事前学習を行って実施したことはとてもよかった。
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】エゾタンポポの栽培は順調に進んでおり、秋にはポットに育ったたくさんの苗を校章花壇に植え替える予定である。今年度は、「命輝け！エゾタンポポプロジェクト」の名称に変え、エゾタンポポを中心に据えながらも、幅広い視野で「命の大切さ」を学ぶ学習として進めている。9月12～13日には初めて6年生全員で岩手県山田町に行き、船越小学校全児童と命の学習交流をしたり、現地の被災ガイドから震災当時の話を聞いたりすることができた。		
	【年度→次年度】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度

(8) エゾタンポポプロジェクト	⑭エゾタンポポ絶滅危機の回避	エゾタンポポの植栽活動	3.6
	⑮エゾタンポポプロジェクトの広報活動	全体計画・学年計画の立案、実践 他地域との交流	
(9) 伝統芸能の取り組み	⑯鳳凰太鼓, 鹿島太鼓の伝承	太鼓クラブによる伝達 伝承クラブによる伝達	4.2
(10) キャリア教育に重点を置いた取組	⑰協働力実践へのアプローチ	宿泊体験学習 地域行事への参加 町探検・職場体験 施設訪問 全校ふるさと学習 輝き力アップ教室	3.6

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	評価指標(自己評価B)	実践課題(自己評価B)	
3.8	(8)=3.6	⑭=3.8	⑮=3.5
	(9)=4.2	⑯=4.2	
	(10)=3.6	⑰=3.6	

- ・エゾタンポポプロジェクトは、全校児童にしっかり意識されている活動で、児童も続けたいと感じていると感じる。
- ・中庭へ行きやすい環境を整えたことで、子どもたちの意識が中庭花壇に向くようになった。

◆児童アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑤	あなたは、エゾタンポポプロジェクトや交流活動に進んで参加していますか。	46	32	15	3	3

◆保護者アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑬	学校は、エゾタンポポプロジェクトや鳳凰太鼓、鹿島太鼓・鹿島流し等を通してふるさとを愛し、誇る心を育てていると思いますか。	70	21	0	0	9
⑭	学校は、ふるさとキャリア教育を通して、互いの良さを認め合い、協力して取り組もうとする気持ちが育っていると思いますか。	59	28	3	0	11

V 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
学校の取組が分かりやすく保護者・地域に伝えられ、地域の教育力を有効に活用している。	前期	良好	良好
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期→年度】今年度も本学区の保護者・地域から温かい協力をいただいている。地域の期待に応えられるよう、保護者・地域の声を聞くことを一層大切にしていきたい。PTA主催の「夏のエゾポップくらぶ(旧親慈塾)」には、桂城・有浦小からもたくさんの参加者があり、東中学区の保護者の連携を高める機会へと発展している。</p> <p>【年度→次年度】</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(11) 地域・家庭との連携	⑱家庭・地域への情報発信・受信、相互理解	学校報の地区配付 「みんなの登校日」の設定 長木親慈塾	3.4	
	⑲家庭。地域の意見を学校運営	学校評価保護者アンケートの活用		

	に生かすための取組		
(12) 地域の教育力の活用	⑳地域素材や人材の活用	学校支援地域本部事業の活用 正課クラブ指導者との連携	3.8

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題	
3.6	(11)=3.4 (12)=3.8	⑱=3.5 ⑳=3.8	㉑=3.3

・正課クラブへの外部指導者の協力は大変ありがたい。長木小の目玉の一つだと思う。

◆児童アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑬	あなたは、家で、学校のことをよく話しますか。	60	25	9	3	3
⑭	あなたは、正課クラブの活動が楽しいですか。(4年生以上)	84	12	1	0	3

◆保護者アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑮	学校だより・学年だより・保健だよりや日常の情報交換などを通じて、学校・子供達の様子をわかりやすく伝えていきますか。	62	35	1	2	0
⑯	学校は、PTA活動・教育後援会事業・スポ少等、保護者や地域との連携を大切にしていますか。	45	36	5	1	13
⑰	学校は、保護者の意見などを学校運営に生かしていると思いますか。	43	38	1	2	16
⑱	学校は、地域の特徴や地域の人材をよく活用していると思いますか。	48	36	1	0	15



運動会地域の方との競技(5月)



エソポップくらぶ(7月)



岩手県山田町交流(9月)

V 学校評価（前期）学校関係者評価委員会による評価

平成30年10月3日(水)

(1) 項目別評価

評価項目	評価	コメント
I 社会性の育成	おおむね良好	学校の方向性と地域の理解がよい。見守りたいや地域の人に対する挨拶に積極性が足りないので、学校だけでなく家庭での指導も充実させていきたい。
II 健康と体力	おおむね良好	ノーメディアデー、朝のさわやかマラソン、徒歩登校などは高く評価できる。ノーメディアデーの一層の周知をお願いしたい。
III 基礎学力	おおむね良好	算数の応用的力など、昨年度の課題への対応を行った成果が出ており、学力が全体にバランスよく伸びてきている。読書の時間を増やす、図書数を増やして親子読書などを行うなどの取組をしてみたらどうか。
IV ふるさとキャリア教育	おおむね良好	エゾタンポポプロジェクトの取組が良好である。特に、命の大切さに目を向ける学習がよい。山田町訪問を全員参加とし、事前学習を行って実施したことはとてもよかった。
V 保護者・地域との連携	良好	夏のエゾポップくらぶへの他小学校合わせて100名以上の参加は素晴らしい。地域の人との交流を深めるため、公民館の活用も検討してみたらどうか。

(2) 全体的なコメント

- ・全体的に良好なので、このまま継続して取り組んでいってほしい。
- ・細い小路が入り組んでいる地区もあるので、自転車の通行区分、乗り方について一層の注意・指導をお願いしたい。
- ・輝き合い集会がとてもよいと思う。継続していってほしい。